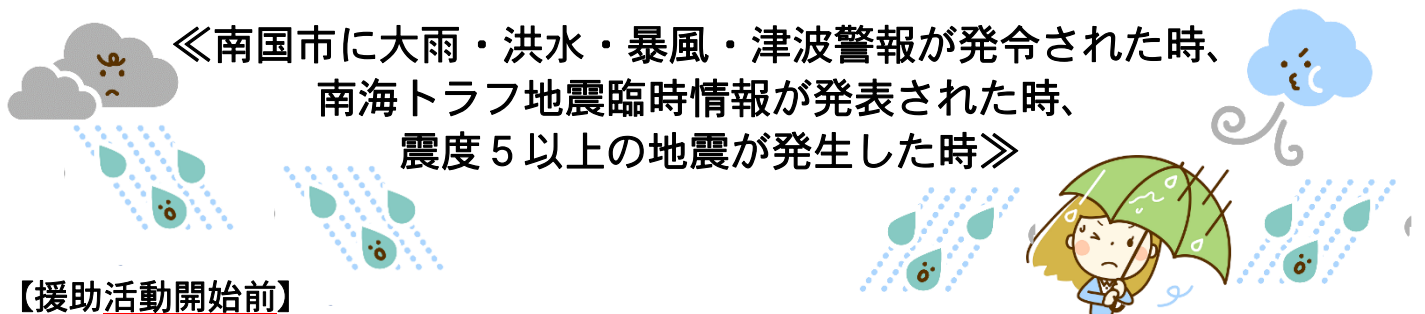


災害時の緊急対応 について

なんこくファミリーサポートセンター
保存版 R3.9.1

《普段の心構え》

1. 会員同士や、所属先（保育所・幼稚園・小学校・学童クラブなど）の連絡先を携帯電話に登録し、常にメモを持つようにして、いざという時、連絡がとれるようにしましょう。
2. 連絡先は事前打ち合わせ時に職場や出先など、漏れなく伝えておきましょう。
3. 事前打ち合わせ時に避難経路や避難場所を双方で確認しておきましょう。
4. 家具の固定を行うとともに、家の中でどこが一番安全な場所か確認しておきましょう。
5. 災害伝言ダイヤル等の、連絡方法の練習などしておきましょう。



《南国市に大雨・洪水・暴風・津波警報が発令された時、 南海トラフ地震臨時情報が発表された時、 震度5以上の地震が発生した時》

【援助活動開始前】

1. 援助会員は、自分の身の安全を第一に考え、援助活動は行わないでください。
2. 依頼会員は、援助活動は行われぬものとして、子どもと自分の安全確保を行ってください。
3. 援助会員は、依頼会員に連絡がとれるようであれば活動中止の連絡を行ってください。

【援助活動中】

1. 援助会員は、子どもと自分の身の安全を第一に考え、避難行動を取りましょう。
2. 依頼会員の緊急連絡先に連絡を行い、現状を報告すると共に、以後どの様に行動するか打ち合わせを行ってください（引き渡し方法・避難場所等）。
連絡がとれない場合は、とれるまで援助活動を継続してください。
3. 保育施設等にいた場合、子どもと援助会員は当該施設（保育所・学童クラブ等）の指示に従ってください。
4. 送迎途中に地震が発生した場合、その場で安全確保を図るとともに、近隣の避難場所等の安全な場所に向かってください。
5. 依頼会員は安全を確保したうえで子どもを迎えに行ってください。

- ※ 職場や家族にもご協力いただけるように日頃からお願いしておきましょう。
- ※ 警報等発令の場合のキャンセル料は発生しません。

《揺れから身を守るポイント》 ・ ・ ・ 落ち着いた行動を！ ・ ・ ・

- ①「地震の発生を早く知る」緊急地震速報をテレビやラジオ、携帯電話などで受信できます。緊急地震速報を見聞きしたら、身を守る行動を取りましょう。
- ②「大事な頭をまず守る」落下物に注意し、大事な頭を守りましょう。
- ③「危険な場所から離れる」倒れるおそれのあるブロック塀や、土砂崩れのおそれのあるところから離れましょう。



●部屋にいたら・・・

丈夫なテーブルや机などの下に隠れましょう。

●多くの人がいる施設にいたら・・・

係員の指示に従いましょう。あわてて出口に向けて走りださないようにしましょう。

●街中を歩いていたら・・・

建物の近くを歩いている時は、ガラス窓、看板などの落下物に注意し、持ち物で頭をカバーし、身を守れる場所に逃げましょう。

●ブロック塀や自動販売機の横を歩いていたら・・・

倒れるおそれがありますので、すぐに離れましょう。

●車を運転していたら・・・

揺れを感じたら、ゆっくりと減速し、あわてず左側路肩に停車してエンジンを停止し、ハザードランプを点灯し、周囲の車に注意を促しましょう。ドアはロックせず、エンジンキーはつけたままにして車を離れましょう。貴重品などは車内に残さないようにしましょう。他の通行車両にはねられないように注意しましょう。

《津波避難のポイント》

●揺れたら・・・まず自分の身を守りましょう。

長い揺れや強い揺れの後には必ず津波が来ると思ってください。

●とにかく・・・揺れがおさまったら、津波警報や津波注意報の発表を待たず、身ひとつで避難してください。

●いそいで・・・決められた避難場所へ早く避難しましょう。

避難場所がわからない場合は、高台やビルの高いところへあがりましょう。原則、車を使わず急いで逃げてください。

●津波警報等が解除されるまで・・・津波は繰り返し襲ってきます。

警報等が解除されるまで絶対に安全な場所から動かないでください。



※「相互援助の手引き」と共に、いつでも確認できるように保管してください。